



プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日： 2019 年 2 月 25 日

氏名： 関 宰、加藤 悠爾、飯塚 睦

所属機関・職名： 北海道大学・准教授

IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 382: Iceberg Alley and Subantarctic Ice and Ocean Dynamics
乗船時の役割	Organic geochemist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動含む)	2019 年 2 月 19 日 ~ 2019 年 2 月 21 日
実施場所	名古屋大学理学部
実施による成果と今後の計画 <p>名古屋大学理学部にて IODP Expedition 382 の日本人乗船予定者 3 名 (関、加藤、飯塚) および、名古屋大学理学部の須藤の 4 名が集まり、航海前の打ち合わせを行った。</p> <p>1 日目は午後より、この航海における目的やこれまでの古海洋研究の成果について、各自発表し、情報の共有を行った。その結果、乗船者 3 名が共通して鮮新世温暖期に興味があることが確認できた。</p> <p>2 日目は午前中より、鮮新世温暖期を対象とした共同研究の可能性や戦略などについて話し合い、今後の研究の方向性についての具体的なイメージを共有することができた。また、本航海のプレスリリースの執筆作業にも従事した。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構地球深部探査センター (CDEX) 内 J-DESC サポートオフィスに E-mail (info@j-desc.org) でご提出ください。